

FNIRSI

DSO-153

携帯型デジタルオシロスコープ 日本語取扱説明書（参考訳）



ご使用前に安全上の注意を必ずお読みください。

翻訳・編集：泰宕商事株式会社

参考訳 v1 / 2026-10-12

参照原本：DSO153 Digital Oscilloscope Instruction Manual。英文章節11-20ページ。

本書について

本書はメーカー原本をもとに、操作・仕様・安全上の注意を日本語で翻訳・整理した参考訳です。メーカー公式の日本語版ではありません。画面の文言、仕様、付属品が異なる場合は、実機の型番・ハードウェア版と対応するメーカー原本を確認してください。

原本の操作と安全上の注意を再構成しています。表示電圧の最大値はプローブ倍率に対応する原本公称値であり、商用電源に安全に接続できるという意味ではありません。実機・プローブの定格と接地条件を確認してください。

構成

1. 安全上の注意
2. 製品概要・端子・操作キー
3. 波形を表示する
4. 仕様と入力条件
5. 信号発生器とシステム設定
6. ファームウェア更新

1. 安全上の注意

- ・可燃性・爆発性のある環境では使用しないでください。
- ・受領後は十分に充電してから使用してください。
- ・本体のX1/X10設定と、プローブ側の減衰比を一致させてください。
- ・高電圧を測定するときは本体やプローブの金属部に触れないでください。充電中の高電圧測定は避けてください。
- ・充電には原本仕様の5V/1A電源を使用してください。
- ・校正は測定対象からプローブを外した状態で行ってください。入力を短絡する場合は、無通電の状態ですべてのプローブ先端と接地側を接続します。
- ・USB更新時に対応するファームウェア以外のファイルを転送しないでください。機器が復旧できなくなるおそれがあります。
- ・廃電池・廃機器は地域の規則に従って処分してください。

接地・入力定格を確認

編集上の安全補足：USB電源やPC接続で接地条件が変わることがあります。プローブの接地側を電位のある箇所へ接続しないでください。本書から絶縁入力や日本の安全認証を推定しないでください。

2. 製品概要・端子・操作キー

DSO-153は帯域1MHz、リアルタイムサンプリング5MSa/sの携帯型オシロスコープです。2.8インチ320×240画面、1000mAh電池を備えます。原本では満充電時の動作時間を約4時間としていますが、使用条件により変わります。信号発生器も搭載します。

本体の部位・キー	機能
DSO入力	測定プローブを接続。原本はDSO入力とDDS出力を別端子で示します。
校正方波端子	1kHz、デューティ50%の方波を出力。
Type-C	5V/1A充電、対応するUSB更新。
充電表示	充電中は赤、満充電時は緑。
電源	長押しでオン、短押しでオフ。
左右ホイール／OK	選択位置の移動。OK短押しはメニュー決定、オシロスコープでは50%位置、発生器では値編集の出入り。長押しでメインメニューへ戻る。
AUTO	波形表示の自動調整。
MODE	短押しでAUTO／Single／Normal切替。長押しで立上り／立下り切替。
上／下	選択中のパラメーターを増加／減少。
RUN	短押しで波形取得の実行／停止。長押しで詳細測定値の表示／非表示。発生器では出力オン／オフ。

3. 波形を表示する

- 1. 本体を充電し、電源を長押しして起動します。測定対象の信号電圧とプローブの安全定格を確認します。
- 2. 入力へプローブを接続し、プローブ倍率と本体X1/X10設定を一致させます。安全な基準点へ接地側を接続してから、先端を測定箇所へ接続します。接続手順の安全注意は泰宕商事による編集補足です。
- 3. AUTOを押して波形の自動調整を行います。適切に表示されない場合は、縦感度と時間軸を手動で調整します。
- 4. 左右ホイールで設定位置を選び、上／下キーで値を調整します。縦感度は1目盛あたりの電圧、時間軸は横1目盛あたりの時間を表します。
- 5. MODEでトリガーモードを選びます。AUTOは自動、Singleは単発、Normalは通常のトリガー取得です。MODE長押しでトリガーの立上り／立下りを切り替えます。トリガーレベルとエッジ表示を確認してください。
- 6. 入力結合はAC/DCを選択します。RUNで波形取得を停止／再開できます。RUN長押しで詳細測定値を表示／非表示にします。

画面の表示	意味
AUTO／Single／Normal	トリガーモード。
0V基準位置	波形のゼロ電位位置。
mV/div、V/div	縦感度。1目盛あたりの電圧。
X1／X10	本体設定。プローブのスイッチ位置と一致させる。
時間軸	横1目盛あたりの時間。
AC／DC	入力結合。
RUN／STOP	取得中／停止。
トリガー位置・エッジ	設定電圧と立上り／立下り。

4. 仕様と入力条件

項目	メーカー原本の値
サンプリング	5MSa/s
帯域	1MHz
縦感度	10mV/div～10V/div
時間軸	500ns～20s（原本表記）
電圧範囲（原本公称）	X1：±40V（80Vpp）、X10：±400V（800Vpp）
トリガー	Auto／Normal／Single、立上り／立下り
入力結合	AC／DC
校正方波	1kHz、デューティ50%、振幅3.3V
画面	2.8インチ、320×240
USB充電	5V/1A
電池	1000mAh
寸法・重量	99×68.3×19.5mm、100g（原本手測り値、誤差あり）

倍率・端子・プローブの条件
原本の±400VはX10設定に対応する表示範囲です。すべての付属プローブや測定環境にこの電圧を許可するものではありません。プローブ・本体の実際の定格を超えないでください。

5. 信号発生器とシステム設定

メインメニューでSignal Generatorを選択します。ホイールで波形を選び、OKで数値編集へ入ります。編集時は左右で桁を選び、上／下で値を調整します。OKで編集を終了し、RUNで出力をオン／オフします。出力オフ時は出力表示が灰色になります。

発生器の項目	原本値
周波数	0～10kHz
振幅	0.1～3.3V
デューティ	0～100%（矩形波・のこぎり波）
波形	正弦、矩形、のこぎり、半波、全波、階段、反転階段、ノイズ、指数上昇、指数下降、DC、多重音、Sink pulse、Lorentz波。後二者は原本名称を保持。

Settingsでは言語、画面輝度・音量、起動モード、テーマ、自動電源オフ、情報、工場出荷設定への復元を設定します。言語は中国語・英語・ロシア語・日本語・スペイン語・ポルトガル語・ドイツ語・韓国語。輝度25～100、音量0～10。起動モードは無効／オシロスコープ／信号発生器。テーマは青／黄。自動電源オフは無効／15分／30分／1時間です。Aboutで型番と版番号を確認します。

6. ファームウェア更新

電源オフの状態ホイールのOK（中央押し込み）を押しながら電源を入れます。Type-CでWindows PCへ接続するとIAPドライブが表示されます。対応するメーカー配布ファームウェアをIAPへコピーします。原本は転送完了まで電源キーを押し続けるよう指示し、完了後は自動でAPPへ移行すると説明しています。

原本はWindows 10を指定し、注意事項ではWindows 10以上と記載しています。Mac対応は確認されていません。更新ファイルは型番とハードウェア版を照合し、別機種用や未確認ファイルを転送しないでください。更新中はUSB接続や電源を切らないでください。

原本内の注意を保持

更新方法は測定操作と別です。不明なキー操作を推測して更新しないでください。メーカーの対応資料を確認してから実行します。

参照資料とお問い合わせ

参照原本：DSO153 Digital Oscilloscope Instruction Manual。英文章節11-20ページ。

原本の製造元：Shenzhen FNIRSI Technology Co., Ltd.

メーカー資料：<https://taigo-shoji.co.jp/manuals/fnirsi/dso-153-en-b74dcef8b565.pdf>

製品・相談窓口：taigo-shoji.co.jp

お問い合わせ：support@taigo-shoji.co.jp

保証・初期不良対応は購入先の案内をご確認ください。原本にあるメーカー独自の保証延長、販売条件、広告表現は、泰宥商事の保証条件として転記していません。

原本との対応

原本の章・ページ	本書での扱い
ユーザーへの注意・概要	安全事項と製品概要に翻訳。宣伝上の比較表現は省略。
面板・ボタン機能	本体のキー名に沿って対照表へ整理。
仕様・画面表示	主要項目・単位・倍率条件と表示の意味を記載。
更新・注意事項	モデル固有のドライブ名とOS条件を保持。
製造元・連絡先	資料の製造元を明記。当社保証とメーカー広告を分離。